

(書式 1 - 1)

特別清算開始申請書

特別清算開始申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇地方裁判所 御中

〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申請人

〇〇〇〇

Asahi Chuo

〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

被申請人

株式会社〇〇〇〇



貼用印紙額 金 〇〇〇〇円

## 申請の趣旨

被申請人株式会社〇〇〇〇について特別精算の開始を求める。

## 申請の理由

- 1 被申請人株式会社〇〇〇〇（以下「同会社」という）は、事業不振のため、長年経常損失を計上し、到底業績の回復を期待できない状態となり、平成〇〇年〇〇月〇〇日株主総会の決議によって解散した。
- 2 申請人は同会社の取締役であったが、解散とともに清算人に選任され、清算事務を執行中であるが、会社の財産状況を調査したところ、別紙調査報告書のとおり平成〇〇年〇〇月〇〇日現在の貸借対照表において、資本不足額〇〇〇〇万円の欠損を生じている状況であって、債務超過であることは明らかであり、このままでは債務を完済することが不可能である。
- 3 よって、会社法第511条第2項の規定により、特別精算を開始されることを求める。

## 添付書類

会社登記簿謄本	1 通
解散時における財務諸表 (貸借対照表、財産目録、資産負債科目内訳明細書)	1 通
債権者名簿	1 通
定款	1 通
調査報告書	1 通

## 解説

### (申請の趣旨 1)

特別清算とは、一定の事由がある場合に、裁判所の命令によって開始される清算手続である。

通常清算と比較すると、一方で、債権者の利益を保護し、公平を確保するために裁判所の強い監督の下に行われる点で、他方で、債権者集会の招集により債権者を集団的に取り扱うことができる点及び債権者の多数決によって承認される協定によって処理することができる点で、差異がある。

管轄裁判所は、本店所在地を管轄する地方裁判所である(会社法第868条第1項)。

### (申請の理由 2)

開始原因としては、第1に、清算の遂行に著しい支障を来すべき事情がある場合、第2に、債務超過の疑いがある場合である(会社法第510条)。

第2の場合には、清算人は、特別清算申立の義務がある(会社法第511条第2項)。